



2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

2025年8月6日



Standard Market | 5013

2026年3月期 第1四半期 決算業績概要



2026年3月期 第1四半期 連結業績概要

- 売上高は、米国の関税政策の影響等により南北アメリカの数字がやや減少したが、他地域がこれを補い増収。
- 営業利益は、経費増や為替換算等の影響はあったが、販売増や販売価格の上昇により増益。
- 経常利益は、為替差益がなくなったことや持分法利益の減少により減益。
- 四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したこと等により増益。

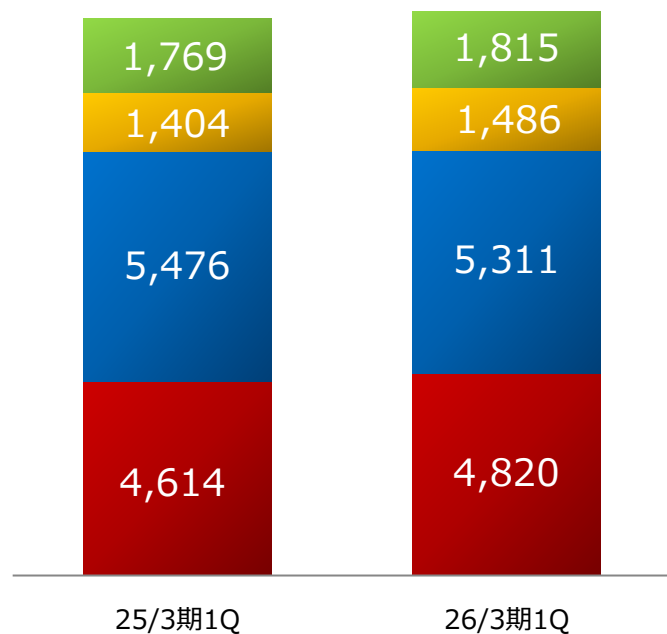
(百万円)	25/3期1Q	26/3期1Q	前期比	
			増減額	増減率
売上高	13,264	13,434	+ 169	+ 1.3%
営業利益	1,124	1,150	+ 26	+ 2.4%
経常利益	1,643	1,480	△163	△9.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,422	2,050	+ 628	+44.2%

2026年3月期 第1四半期 セグメント別売上高

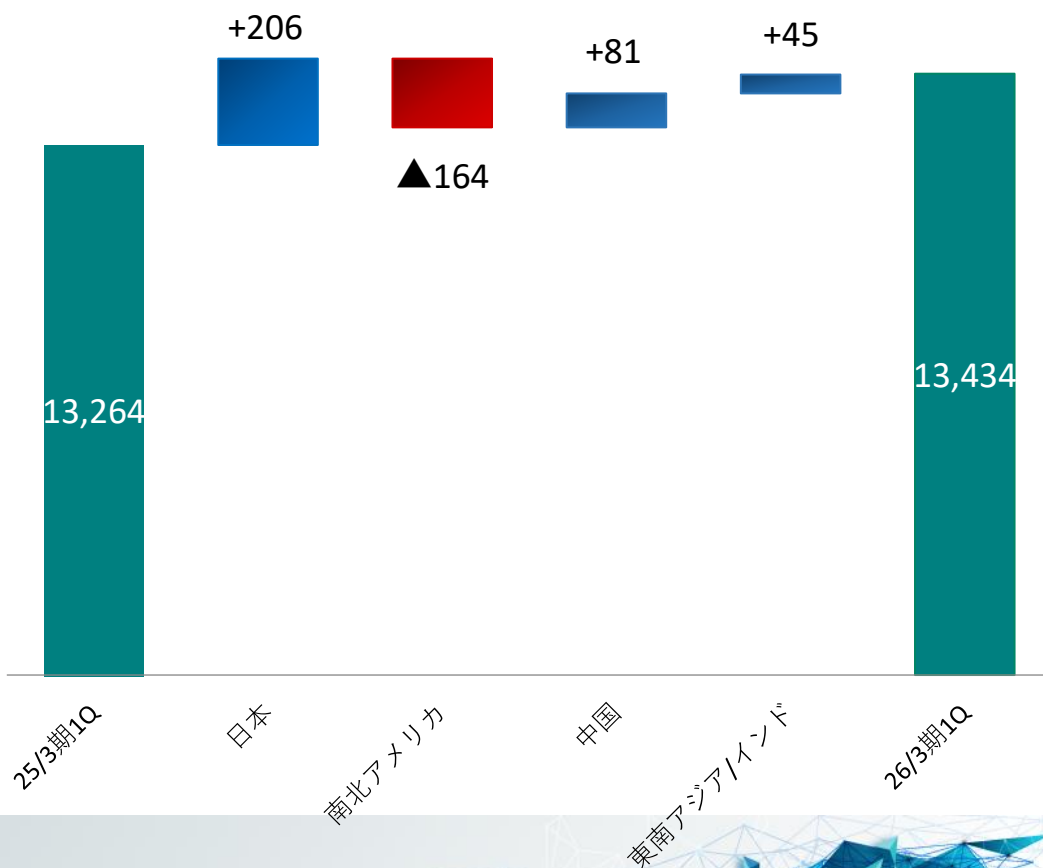
- 南北アメリカを除く全てのセグメントで増収。
- 南北アメリカは、ユシロアメリカの減収額が大きい。
- 中国は、子会社2社の内、1社が持分法会社になったが、大きな影響はない。

セグメント別売上高（百万円）

■ 日本 ■ 南北アメリカ ■ 中国 ■ 東南アジア/インド



セグメント別売上高増減（百万円）

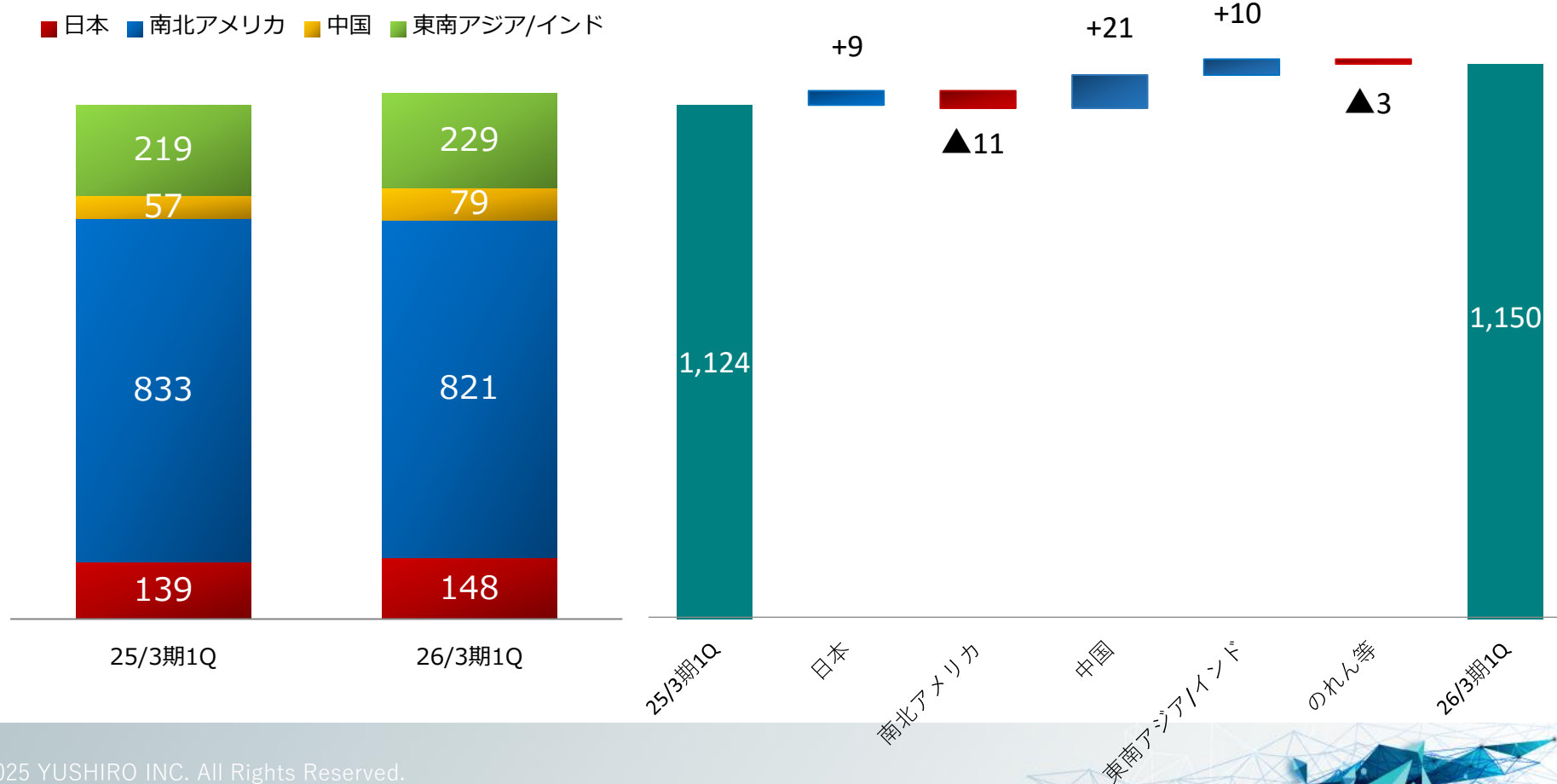


2026年3月期 第1四半期 セグメント別営業利益

- 南北アメリカを除く全てのセグメントで増益。
- 南北アメリカは、メキシコの増益で他拠点を補い、減益額を圧縮。

セグメント別営業利益（百万円）

セグメント別営業利益増減（百万円）



2026年3月期 第1四半期 拠点別売上高・営業利益増減

- 日本は、主要顧客の自動車メーカーの生産の伸びが鈍いなか、販売価格の改定や拡販に努めて増収増益。
- ユシロアメリカは、関税政策への対応策として日系自動車・部品メーカーが在庫調整等を進めた影響を受け減収減益。
- クオリケムは、売上高は前期並みを維持しているが、経費・人件費が増加し減益。
- メキシコは、販売数量は減少しているが、販売価格を高水準で維持でき増益。
- 中国は、一部日系自動車メーカーのHV車が好調であり、固定費削減も寄与し増益。
- インドは、主要顧客の生産は堅調だが、グループ間の原料売上の減少や、一部製品の値下げの影響もあり減収減益。
- インドネシアは、自動車生産低調のなか、拡販等で前期並みの売上を確保するも、経費・人件費増により減益。

拠点別売上高（百万円） ※個社の単純合算数値

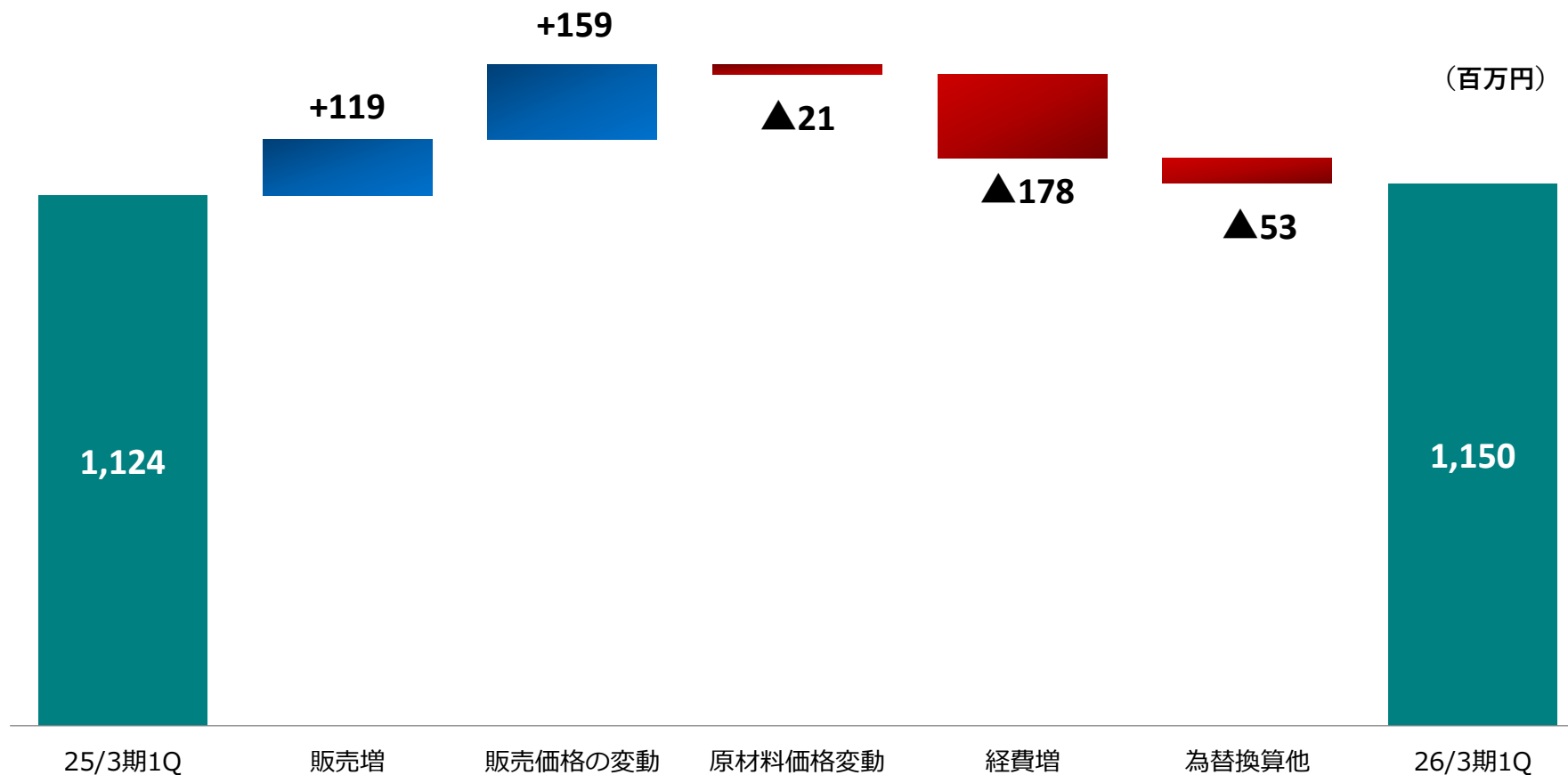
拠点		25/3期1Q	26/3期1Q	増減率
日本		5,192	5,476	+5.5%
アメリカ	ユシロアメリカ	1,527	1,395	△8.6%
	クオリケム	2,848	2,893	+1.6%
メキシコ		636	579	△8.9%
ブラジル		511	469	△8.2%
中国		1,673	1,486	△11.2%
タイ		607	717	+18.1%
マレーシア		428	434	+1.5%
インド		458	398	△13.2%
インドネシア		457	457	+0.2%

拠点別営業利益（百万円） ※個社の単純合算数値

拠点		25/3期1Q	26/3期1Q	増減率
日本		77	82	+6.1%
アメリカ	ユシロアメリカ	239	191	△20.2%
	クオリケム	413	388	△6.0%
メキシコ		110	165	+49.7%
ブラジル		96	90	△6.1%
中国		71	90	+26.7%
タイ		88	98	+12.0%
マレーシア		49	61	+23.8%
インド		25	18	△27.1%
インドネシア		83	65	△21.2%

2026年3月期 第1四半期 営業利益増減要因分析

- 経費増や為替換算等の影響はあるが、販売増や販売価格の上昇により増益。



2026年3月期 業績予想

※2025年5月に公表した業績予想から修正なし

アメリカ関税政策の当社事業への影響

事業エリア	想定されるリスク	財務 影響度	見通しと対策
アメリカ	原材料費・物流費の上昇による製造コスト増加	中	原材料費は原油価格の動きを受けて落ち着きあり 物流費・人件費は上昇基調で状況により価格改訂検討
	メキシコなどアメリカ外からの輸入で対応している製品のコスト増加	低	アメリカ事業を担うアメリカユシロとクオリケムは同国内での生産がほとんど
	自動車需要の減退による自動車メーカーの生産調整・縮小	高	主要顧客の日系自動車メーカーは在庫調整しつつ、様子見の状況。正常化のタイミングは注視が必要
	インフレ進行による需要の減少	高	足元は需要の減少の動きはないが、高関税による小売価格への影響は注視必要
アメリカ以外	自動車・自動車部品の対米輸出減少を契機にした世界的な自動車の生産調整・減少	高	足元は、生産のアロケーション調整や在庫調整による対応が主で、本格的な減産の動きはないが、注視は必要
	関税回避のための生産地移管とサプライチェーン再構築	低	日本から製品を輸出しているわけではなく、原則、各地域で仕入・製造・販売を行う体制を構築済
	米中の高関税設定による中国での需要減少	低	中国では、主要顧客の日系自動車メーカーは自国内向け需要であり、アメリカ向けの生産は僅少

2026年3月期の主な取り組み

1	原材料価格上昇への対応	新たなコスト上昇に対する顧客との交渉による適正な価格改定の実施
2	金属加工油剤の販売拡大	- 自動車業界隣接分野（E V 含む）及び他市場への参入・販売拡大 - 航空機、医療、半導体などの非自動車分野に向けた高付加価値製品の販売拡大
3	市場開拓	- CD誘導体の機能性添加剤としての販売先拡大と量産体制確立 - ヒカリアクション機能を付与した防コケ・防カビ剤、機械冷却液など特色ある製品の販売拡大
4	ESG戦略の推進	- サステナビリティ推進委員会の取り組みによる全社サステナビリティ活動の推進 - ESG推進項目のKPI化と目標設定

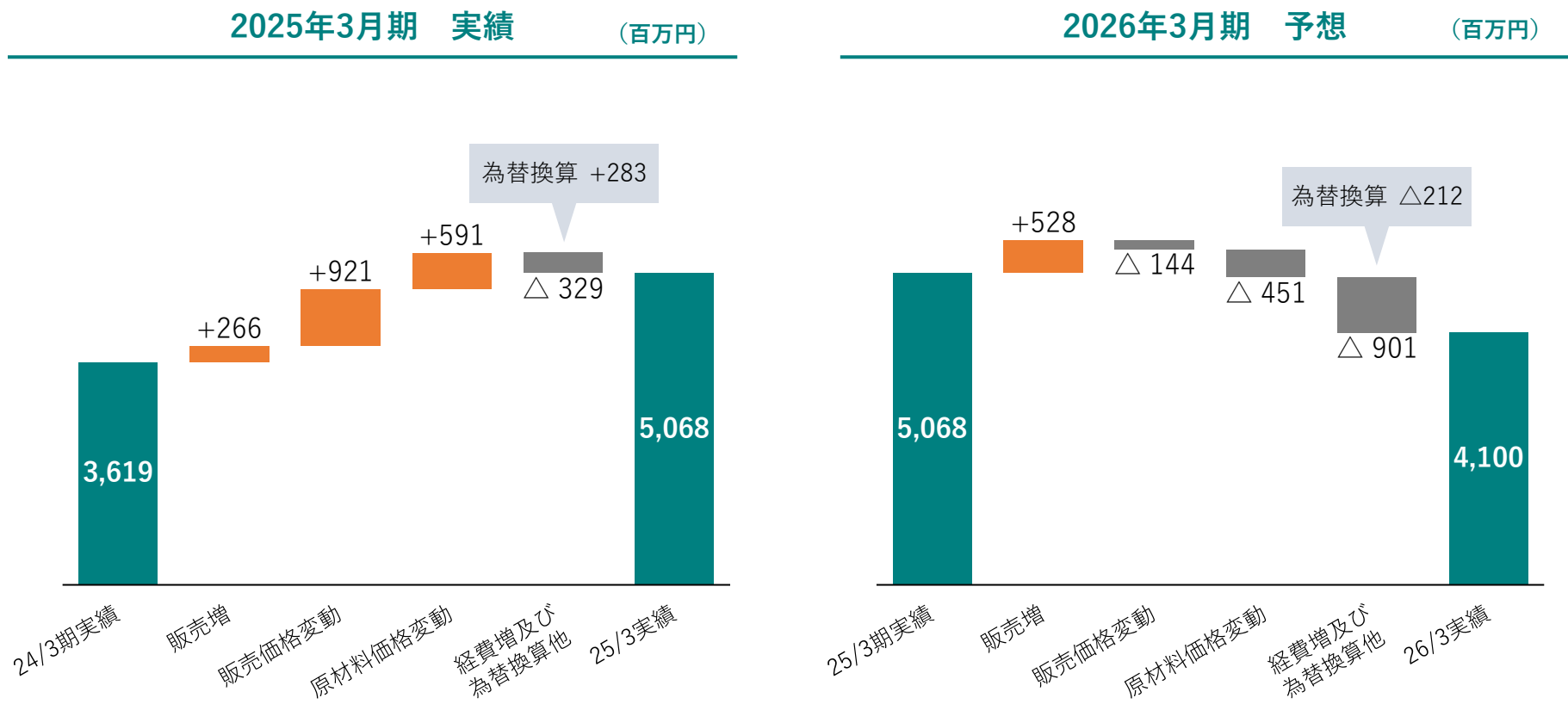
2026年3月期 連結業績予想

- 売上高は、一部地域でのアメリカ関税政策による需要減、及び円高による換算上のマイナス影響を反映し減収を予想。
- 利益面は、販売減に加え、インフレ等による経費・人件費増、換算によるマイナス影響を反映し減益を予想。なお、当期純利益は、保有資産の見直し・売却等により増益を見込む。

	25/3期実績	26/3期予想	前期比	
(百万円)			増減額	増減率
売上高	55,512	55,200	△312	△0.6%
営業利益	5,068	4,100	△968	△19.1%
経常利益	6,096	4,700	△1,396	△22.9%
当期純利益	4,315	4,350	+34	+0.8%
R O E	10.3%	10.0%	—	—
為替レート	151¥/\$	145¥/\$	—	—

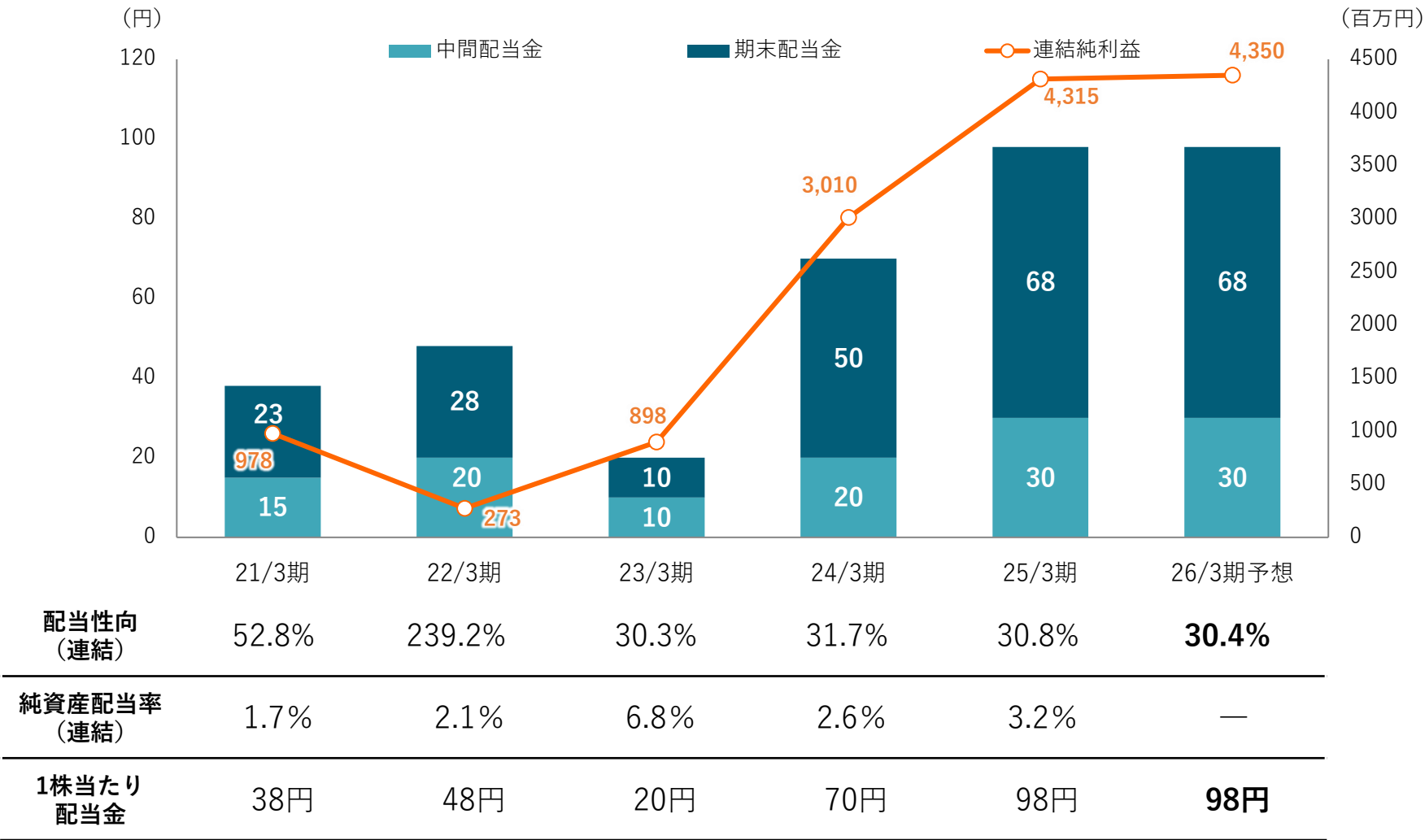
連結営業利益増減要因分析

- 25/3期は販売価格の見直しに加え、原材料費の抑制に取り組み増益。
- 26/3期は拡販に努めるが、経費の増加に加え、為替換算影響を見込み減益。



株主還元

- 連結配当性向を30%以上とし、投資とのバランスを考慮の上、安定的な配当を目指す。



財務・投資戦略

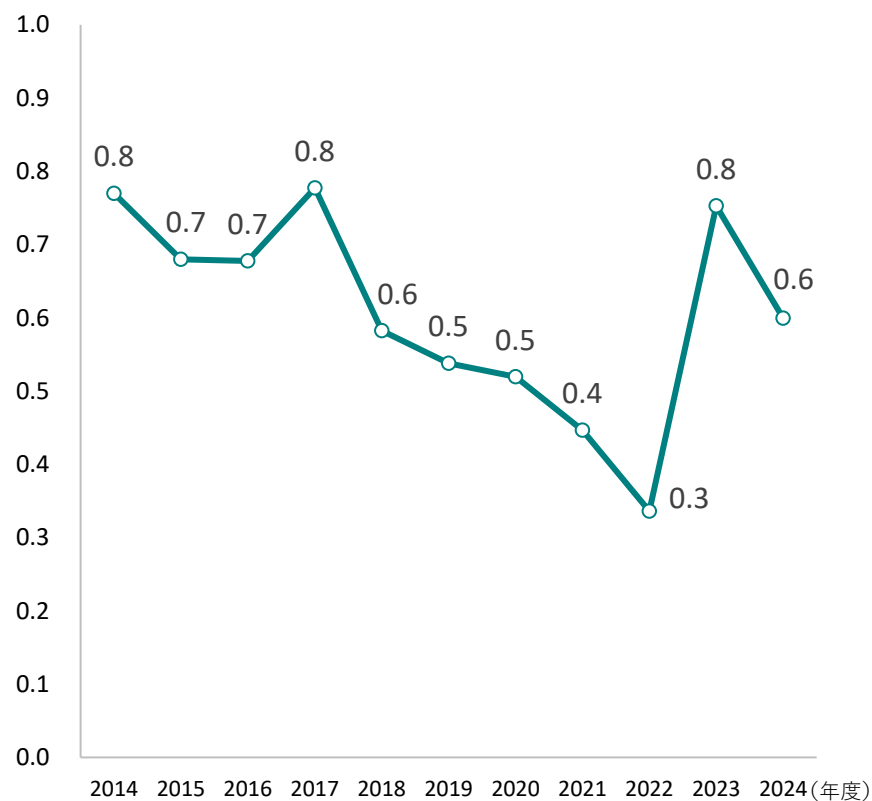
- 成長・維持および更新に対する投資や、株主還元および財務体質の強化に充当。
- 初年度として計画の3割弱を実行。



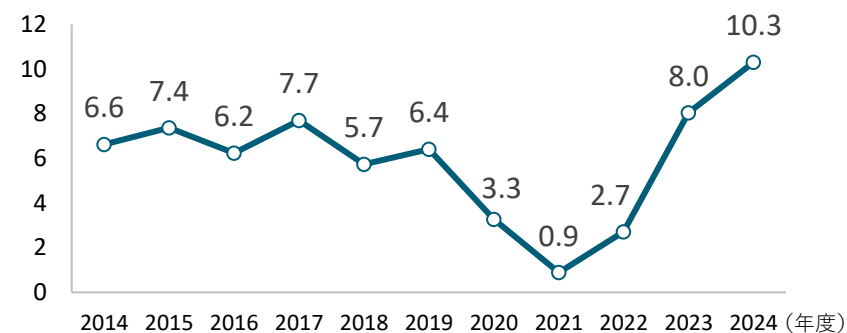
PBR改善に向けた取り組み（現状分析）

- PBR1倍割れの状況が継続しており、資本コスト(WACC)を上回るROE水準を安定的に維持できていないことが要因であると認識。

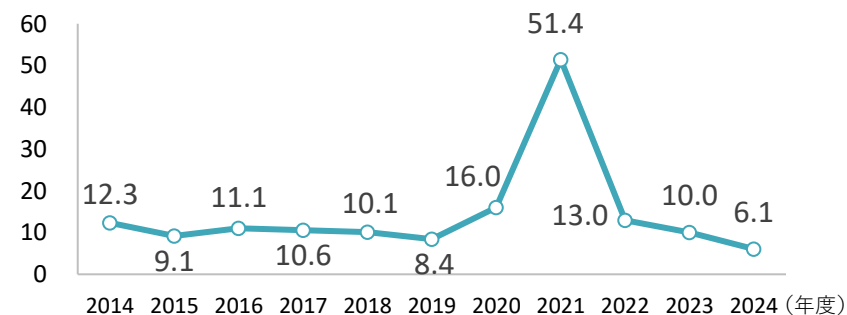
PBR (倍)



ROE (%)

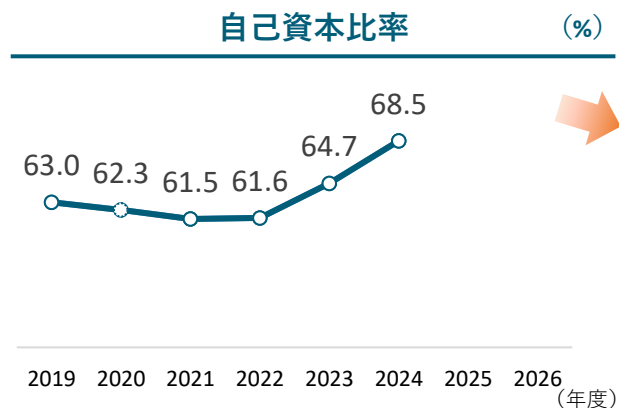
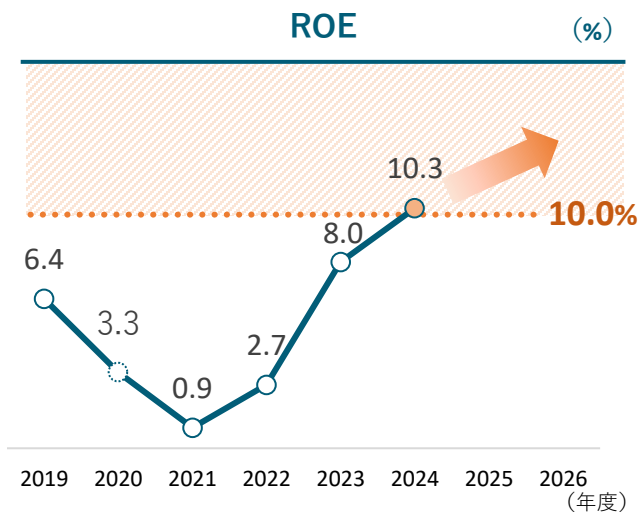
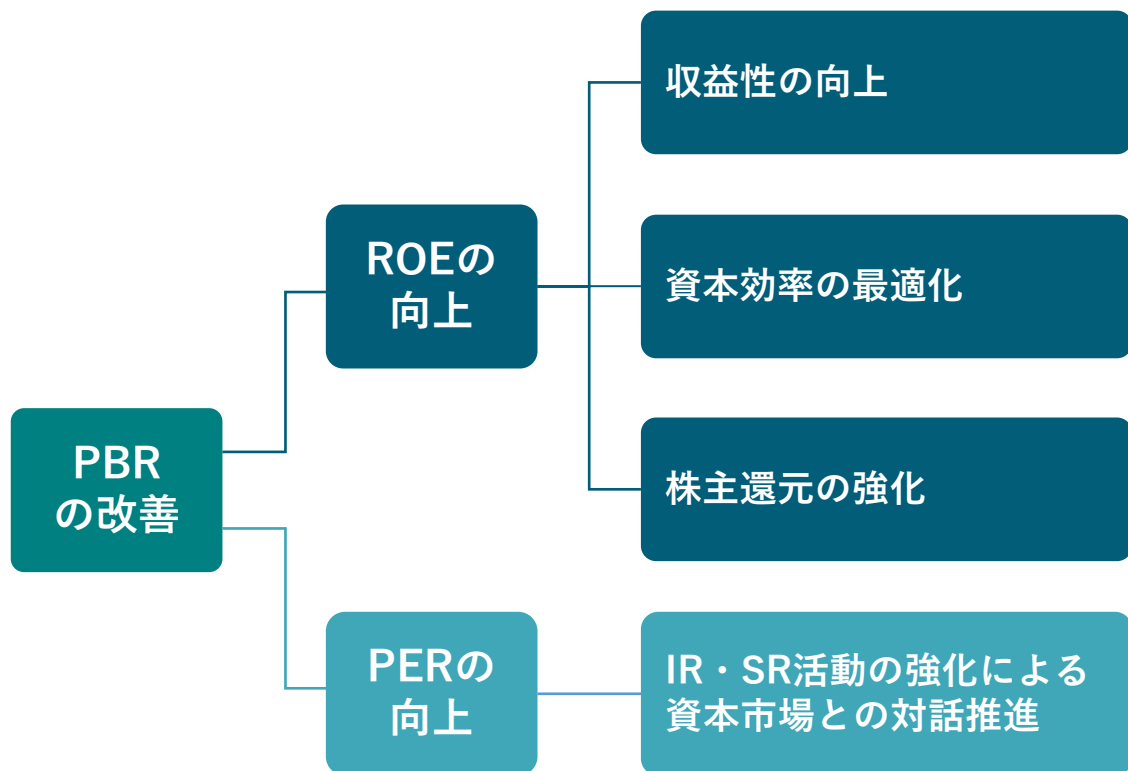


PER (倍)



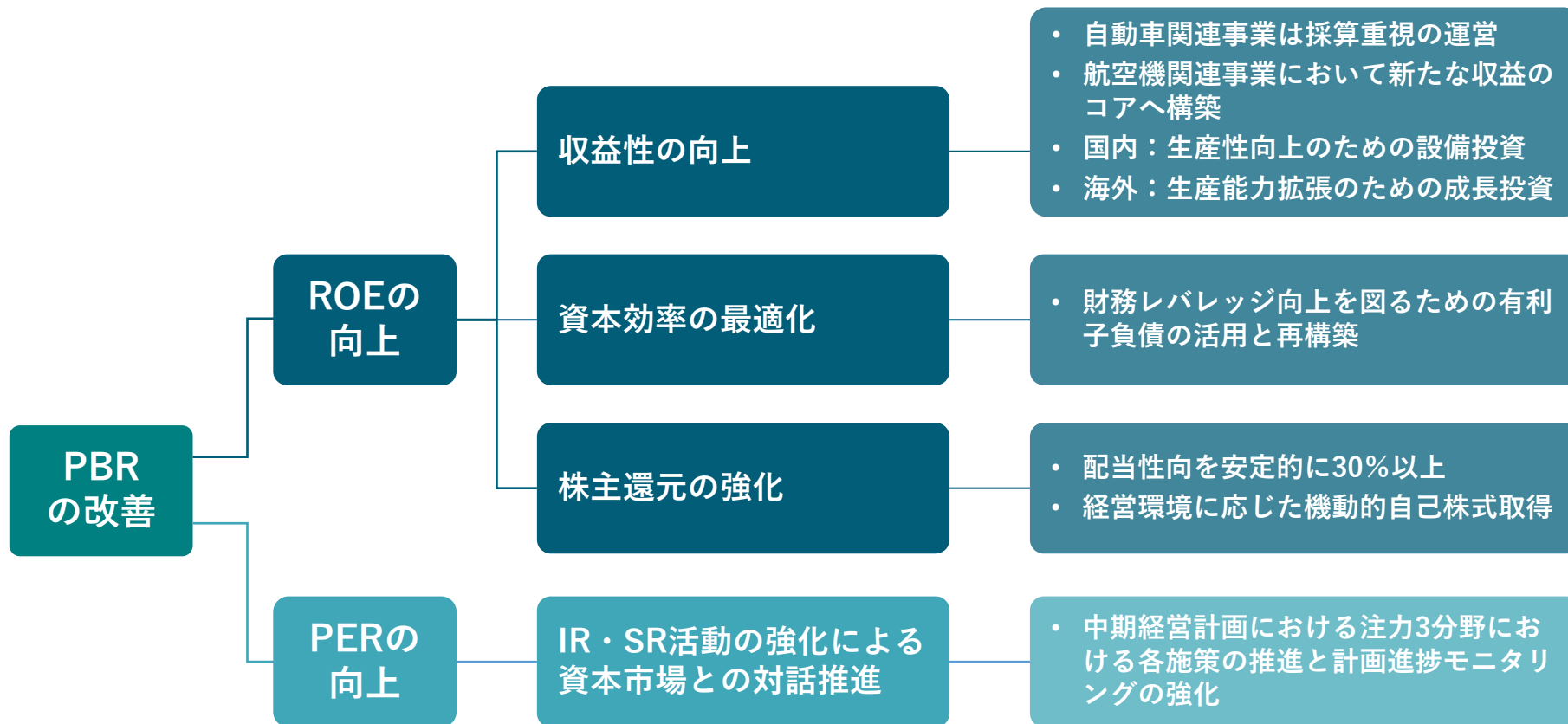
PBR改善に向けた取り組み

- 中期経営計画の着実な推進により経営目標の達成を目指すとともに、ROEとPERの向上を重要課題として各種施策に取り組む。



PBR改善に向けた取り組み

- 中期経営計画の着実な推進により経営目標の達成を目指すとともに、ROEとPERの向上に資する課題への対処を強力に進める。



- ROEは安定的に10%以上の確保を目指す
- 同時にROEがWACCを上回るエクイティスプレッド拡大の取組の推進

当資料取扱い上の注意

当資料に記されたユシロの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシロの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しの上に全面的に依拠されることは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

- ①ユシログループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②世界の原油価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象 等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシロをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

